

# 都市の中の森 人が作った自然を見直してみよう



広々とした芝生と森



大泉池



丸太の柱の噴水(集合場所)

日本の都市は、建物が多くの面積を占め、自然が少ないのが普通です。そこで、人の手で計画的に自然を取り入れた公園が作られています。大阪では、戦時中の四大防空疎開地(大泉・服部・鶴見・久宝寺)を緑地に生まれ変わらせて大きな公園にしました。今回はその一つ大泉緑地を訪れます。

約 100 ヘクタールの中に 200 種 32 万本の木が茂り、名前の由来になった大泉池、芝生広場や小川、遊具などもあって子どもといっしょにゆっくり楽しめる所です。

季節は初夏。都会の真ん中で野鳥や昆虫たちにも出会えることでしょう。

**日時**：2019年5月5日(日) (雨天中止) 10時～(15時頃解散の予定)

**場所**：大泉緑地

**集合**：緑地西入口「丸太の柱噴水」前 (地下鉄御堂筋線「新金岡」下車2番出口から東へ1km)

**内容**：緑地の森や野原や小川を巡り、初夏の自然のようすを楽しむ

幼児でも歩き回れるコースです。

**講師**：森山康浩(子ども情報研究センター代表理事)

**持ち物**：長袖長ズボン(天気に合わせて調節できるように)・歩きやすい靴・帽子・メモ帳・弁当・水筒・雨具・敷物。あれば双眼鏡・虫めがね・図鑑

※荷物はリュック1つにまとめると便利

**参加費**：一般1,000円(個人正会員500円)18歳以下は無料 ※保険代含む

**申込み**：先着30名 4/19(金)まで

※参加申込書を子ども情報研究センターまでFAX又はメールください。

**その他**：詳細は改めて後日(4/22頃)、参加者にお知らせします。

◆お申し込み・お問い合わせは、子ども情報研究センター事務局まで◆

〒552-0001 大阪市港区波除4-1-37 HRCビル5階

TEL：06-4708-7087 FAX：06-4394-8501 E-mail：info@kojoken.jp